(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7612680号
(P7612680)

(45)発行日　令和7年1月14日(2025.1.14)

(24)登録日　令和6年12月27日(2024.12.27)

(51)国際特許分類
Ｂ６５Ｄ　71/40　(2006.01)

ＦＩ
Ｂ６５Ｄ　71/40

請求項の数　28　（全19頁）

(21)出願番号　特願2022-521248(P2022-521248)
(86)(22)出願日　令和2年10月5日(2020.10.5)
(65)公表番号　特表2022-551866(P2022-551866A)
(43)公表日　令和4年12月14日(2022.12.14)
(86)国際出願番号　PCT/US2020/054205
(87)国際公開番号　WO2021/071764
(87)国際公開日　令和3年4月15日(2021.4.15)
審査請求日　令和5年8月25日(2023.8.25)
(31)優先権主張番号　16/598,282
(32)優先日　令和1年10月10日(2019.10.10)
(33)優先権主張国・地域又は機関
米国(US)

(73)特許権者　504075588
グラフィック パッケージング インターナショナル エルエルシー
アメリカ合衆国 ３０３２８ ジョージア，アトランタ，リヴァレッジ パークウェイ １５００，スイート １００，ロー デパートメント － ナインス フロアー
(74)代理人　100094112
弁理士　岡部 譲
(74)代理人　100101498
弁理士　越智 隆夫
(74)代理人　100107401
弁理士　高橋 誠一郎
(74)代理人　100120064
弁理士　松井 孝夫

最終頁に続く

(54)【発明の名称】　容器用キャリア

(57)【特許請求の範囲】

【請求項１】

複数の容器を保持するためのキャリアであって、該キャリアは、

頂部パネルと、少なくとも１つの中央パネル、及び前記複数の容器の１つ以上の容器の一部を受け入れるように構成された少なくとも１つの取付けパネルとを含む複数のパネルであって、前記少なくとも１つの中央パネルは、前記複数の容器の隣接する容器の間に位置決めされ取付けられ、かつ第一の開口の列と、前記第一の開口の列から離間した第二の開口の列とを含む、複数のパネルと、

前記複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能な少なくとも１つのアクセス機構と、を備え、該少なくとも１つのアクセス機構は、前記頂部パネルの周縁領域と、前記少なくとも１つの取付けパネルの周縁領域とを含む、キャリア。

【請求項２】

前記少なくとも１つの中央パネルは、前記複数の容器の隣接する容器に接着される、請求項１に記載のキャリア。

【請求項３】

前記少なくとも１つのアクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域が前記少なくとも１つの中央パネルに対して概ね垂直である第一の構成と、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域が、前記複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために持ち上げられる第二の構成との間で再構成

可能である、請求項１に記載のキャリア。
【請求項４】
前記アクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域に折り曲げ可能に接続された側面パネルをさらに備え、及び、
前記頂部パネルの前記周縁領域は、前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域と重なる、請求項３に記載のキャリア。
【請求項５】
前記アクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域に折り曲げ可能に接続された側面パネルをさらに備え、及び、
前記頂部パネルの前記周縁領域は、前記頂部パネルの第一の周縁領域であり、前記キャリアは、前記頂部パネルの第二の周縁領域をさらに含み、前記少なくとも１つの取付けパネルは、前方取付けパネルであり、前記キャリアは、後方取付けパネルをさらに含み、前記少なくとも１つの側面パネルは、前方側面パネルであり、前記キャリアは、前記後方取付けパネルに折曲げ可能に接続された後方側面パネルをさらに含み、前記頂部パネルは、中央領域を含み、前記少なくとも１つのアクセス機構は、第一の折り線で前記頂部パネルの前記中央領域に折曲げ可能に接続された第一のアクセス機構であり、前記キャリアは、前記頂部パネルの前記第二の周縁領域と前記後方取付けパネルの周縁領域とを含む第二のアクセス機構をさらに含み、前記第二のアクセス機構は、第二の折り線で前記頂部パネルの前記中央領域に折曲げ可能に接続される、請求項３に記載のキャリア。
【請求項６】
前記少なくとも１つの中央パネルは、前記前方取付けパネルに折曲げ可能に接続された前方中央パネルであり、前記キャリアは、前記後方取付けパネルに折曲げ可能に接続され、前記前方中央パネルと少なくとも部分的に面対面接触するようにされている後方中央パネルをさらに含む、請求項５に記載のキャリア。
【請求項７】
前記第一の開口の列は、前記少なくとも１つの中央パネルの下端から第一の距離だけ離間され、前記第二の開口の列は、前記少なくとも１つの中央パネルの前記下端から第二の距離だけ離間され、前記第二の距離は、前記第一の距離よりも大きい、請求項１に記載のキャリア。
【請求項８】
前記少なくとも１つの中央パネルは、前方中央パネルであり、前記複数のパネルは、前記前方中央パネルと面対面接触する後方中央パネルをさらに含み、前記少なくとも１つの取付けパネルは、前記前方中央パネルに折曲げ可能に接続された前方取付けパネルであり、前記複数のパネルは、前記後方中央パネルに折曲げ可能に接続された後方取付けパネルをさらに含む、請求項７に記載のキャリア。
【請求項９】
前記少なくとも１つの中央パネル及び前記少なくとも１つの取付けパネルのうちの少なくとも１つは、少なくとも１つのハンドル開口を含み、前記頂部パネルは、少なくとも１つのハンドル機構を含み、前記少なくとも１つのハンドル機構は、前記少なくとも１つのハンドル開口と整列される、請求項１に記載のキャリア。
【請求項１０】
複数の容器を保持するためのキャリアを形成するためのブランクであって、前記ブランクは、
頂部パネルと、少なくとも１つの中央パネル、及び少なくとも１つの取付けパネルを含む複数のパネル、及び
前記頂部パネルの周縁領域と、前記少なくとも１つの取付けパネルの周縁領域とを含む少なくとも１つのアクセス機構を備え、前記少なくとも１つのアクセス機構は、前記キャリアが前記ブランクから形成されたときに、前記複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能であり、
前記少なくとも１つの中央パネルは、前記キャリアが前記ブランクから形成されたとき

に、前記複数の容器の隣接する容器の間に位置決めされ取付けられ、かつ第一の開口の列と、前記第一の開口の列から離間した第二の開口の列とを含む、ブランク。

【請求項１１】

前記少なくとも１つの中央パネルは、前記複数の隣接する容器に接着される、請求項１０に記載のブランク。

【請求項１２】

前記キャリアが前記ブランクから形成されたときに、前記少なくとも１つのアクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域が前記少なくとも１つの中央パネルに対して概ね垂直である第一の構成と、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域が、前記複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするように持ち上げられる第二の構成との間で再構成可能である、請求項１０に記載のブランク。

【請求項１３】

前記アクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域に折曲げ可能に接続された側面パネルをさらに含み、前記頂部パネルの前記周縁領域は、前記頂部パネルの第一の周縁領域であり、前記キャリアは、前記頂部パネルの第二の周縁領域をさらに含み、前記少なくとも１つの取付けパネルは、前方取付けパネルであり、前記キャリアは、後方取付けパネルをさらに含み、前記少なくとも１つの側面パネルは、前方側面パネルであり、前記キャリアは、前記後方取付けパネルに折曲げ可能に接続された後方側面パネルをさらに含み、前記頂部パネルは、中央領域を含み、前記少なくとも１つのアクセス機構は、第一の折り線で前記頂部パネルの前記中央領域に折曲げ可能に接続された第一のアクセス機構であり、前記キャリアは、前記頂部パネルの前記第二の周縁領域及び前記後方取付けパネルの周縁領域を含む第二のアクセス機構さらに含み、前記第二のアクセス機構は、第二の折り線で前記頂部パネルの前記中央領域に折曲げ可能に接続されている、請求項１２に記載のブランク。

【請求項１４】

前記少なくとも１つの中央パネルは、前記前方取付けパネルに折曲げ可能に接続された前方中央パネルであり、前記キャリアは、前記後方取付けパネルに折曲げ可能に接続された後方中央パネルをさらに含む、請求項１３に記載のブランク。

【請求項１５】

前記第一の開口の列は、前記少なくとも１つの中央パネルの下端から第一の距離だけ離間され、前記第二の開口の列は、前記少なくとも１つの中央パネルの前記下端から第二の距離だけ離間され、前記第二の距離は、前記第一の距離よりも大きい、請求項１０に記載のブランク。

【請求項１６】

前記少なくとも１つの中央パネルは、前方中央パネルであり、前記複数のパネルは、後方中央パネルをさらに含み、前記少なくとも１つの取付けパネルは、前記前方中央パネルに折曲げ可能に接続された前方取付けパネルであり、前記複数のパネルは、前記後方中央パネルに折曲げ可能に接続された後方取付けパネルをさらに含む、請求項１５に記載のブランク。

【請求項１７】

前記少なくとも１つの中央パネル及び前記少なくとも１つの取付けパネルの少なくとも１つは、少なくとも１つのハンドル開口を含み、前記頂部パネルは、前記キャリアが前記ブランクから形成されたときに、前記少なくとも１つのハンドル開口と整列されるための少なくとも１つのハンドル機構を含む、請求項１０に記載のブランク。

【請求項１８】

複数の容器を保持するためのキャリアを形成する方法であって、前記方法は、

頂部パネルと、少なくとも１つの中央パネルと、少なくとも１つの取付けパネルとを含む複数のパネルと、前記頂部パネルの周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの周縁領域を含む少なくとも１つのアクセス機構とを含むブランクであって、前記少なくと

も１つの中央パネルは、第一の開口の列と、前記第一の開口の列から離間した第二の開口の列とを含む、ブランクを獲得すること、
前記少なくとも１つの中央パネルが、前記複数の容器の隣接する容器の間に位置決めされるように、前記複数のパネルを折り曲げること、及び、
前記複数の容器の少なくとも１つを前記少なくとも一つの中央パネルに取付けることを含み、前記少なくとも１つのアクセス機構は、前記複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能である、方法。
【請求項１９】
前記少なくとも１つの中央パネルは、前記複数の容器の隣接する容器に接着される、請求項１８に記載の方法。
【請求項２０】
前記少なくとも１つのアクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域が前記少なくとも１つの中央パネルに概ね垂直である第一の構成と、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域が、前記複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするように持ち上げられる第二の構成との間で再構成可能である、請求項１８に記載の方法。
【請求項２１】
前記アクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域に折曲げ可能に接続された側面パネルをさらに含み、及び、前記頂部パネルの前記周縁領域は、前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域と重なる、請求項２０に記載の方法。
【請求項２２】
前記アクセス機構は、前記頂部パネルの前記周縁領域及び前記少なくとも１つの取付けパネルの前記周縁領域に折曲げ可能に接続された側面パネルをさらに含み、及び、前記頂部パネルの前記周縁領域は、前記頂部パネルの第一の周縁領域であり、前記キャリアは、前記頂部パネルの第二の周縁領域をさらに含み、前記少なくとも１つの取付けパネルは、前方取付けパネルであり、前記キャリアは、後方取付けパネルをさらに含み、前記少なくとも１つの側面パネルは、前方側面パネルであり、前記キャリアは、前記後方取付けパネルに折曲げ可能に接続された後方側面パネルをさらに含み、前記頂部パネルは、中央領域を含み、前記少なくとも１つのアクセス機構は、第一の折り線で前記頂部パネルの前記中央領域に折曲げ可能に接続された第一のアクセス機構であり、前記キャリアは、前記頂部パネルの前記第二の周縁領域と前記後方取付けパネルの周縁領域とを含む第二のアクセス機構をさらに含み、前記第二のアクセス機構は、第二の折り線で前記頂部パネルの前記中央領域に折曲げ可能に接続される、請求項２０に記載の方法。
【請求項２３】
前記少なくとも１つの中央パネルは、前記前方取付けパネルに折曲げ可能に接続された前方中央パネルであり、前記キャリアは、前記前方中央パネルと少なくとも部分的に面対面接触し、前記後方取付けパネルに折曲げ可能に接続される後方中央パネルをさらに含む、請求項２２に記載の方法。
【請求項２４】
前記第一の開口の列は、前記少なくとも１つの中央パネルの下端から第一の距離だけ離間され、前記第二の開口の列は、前記少なくとも１つの中央パネルの前記下端から第二の距離だけ離間され、前記第二の距離は、前記第一の距離よりも大きい、請求項１８に記載の方法。
【請求項２５】
前記少なくとも１つの中央パネルは、前方中央パネルであり、前記複数のパネルは、前記前方中央パネルに面対面接触する後方中央パネルをさらに含み、前記少なくとも１つの取付けパネルは、前記前方中央パネルに折曲げ可能に接続された前方取付けパネルであり、前記複数のパネルは、前記後方中央パネルに折曲げ可能に接続された後方取付けパネルをさらに含む、請求項２４に記載の方法。

【請求項２６】
前記少なくとも１つの中央パネル及び前記少なくとも１つの取付けパネルのうちの少なくとも１つは、少なくとも１つのハンドル開口を含み、前記頂部パネルは、少なくとも１つのハンドル機構を含み、前記少なくとも１つのハンドル機構は、前記少なくとも１つのハンドル開口と整列される、請求項１８に記載の方法。
【請求項２７】
パッケージであって、
複数の容器、及び、前記複数の容器を保持する請求項１に記載の前記キャリアを備えるパッケージ。
【請求項２８】
前記少なくとも１つの中央パネルは、前記複数の容器の隣接する容器に接着される、請求項２７に記載のパッケージ。
【発明の詳細な説明】
【関連出願】
【０００１】
［関連する出願に対する相互参照］
本出願は、２０１９年５月３０日に出願された米国特許出願第１６／４２６，０６６号の一部継続出願であり、２０１８年１２月１４日に出願された米国仮特許出願第６２／７７９，６８９号、２０１８年１２月２１日に出願された米国仮特許出願第６２／７８３，７５２号、２０１９年１月２５日に出願された米国仮特許出願第６２／７９６，８３０号、２０１９年１月２８日に出願された米国仮特許出願第６２／７９７，５８５号、２０１９年２月２５日に出願された米国仮特許出願第６２／８１０，０１５号、２０１９年３月６日に出願された米国仮特許出願第６２／８１４，４１２号、２０１９年３月１２日に出願された米国仮特許出願第６２／８１７，１２０号、及び２０１９年５月１日に出願された米国仮特許出願第６２／８４１，４４９号の各々の利益を主張する。
【０００２】
［引用による補充］
２０１８年１２月１４日に出願された米国仮特許出願第６２／７７９，６８９号、２０１８年１２月２１日に出願された米国仮特許出願第６２／７８３，７５２号、２０１９年１月２５日に出願された米国仮特許出願第６２／７９６，８３０号、２０１９年１月２８日に出願された米国仮特許出願第６２／７９７，５８５号、２０１９年２月２５日に出願された米国仮特許出願第６２／８１０，０１５号、２０１９年３月６日に出願された米国仮特許出願第６２／８１４，４１２号、２０１９年３月１２日に出願された米国仮特許出願第６２／８１７，１２０号、２０１９年５月１日に出願された米国仮特許出願第６２／８４１，４４９号、２０１９年５月３０日に出願された米国特許出願第１６／４２６，０５０号、２０１９年５月３０日に出願された米国特許出願第１６／４２６，０５７号、２０１９年５月３０日に出願された米国特許出願第１６／４２６，０６０号、２０１９年５月３０日に出願された米国特許出願第１６／４２６，０６３号、２０１９年５月３０日に出願された米国特許出願第１６／４２６，０６６号、２０１９年５月３０日に出願された米国意匠特許出願第２９／６９２，９９２号、２０１９年５月３０日に出願された米国意匠特許出願第２９／６９２，９９３号、２０１９年５月３０日に出願された米国意匠特許出願第２９／６９２，９９４号、２０１９年５月３０日に出願された米国意匠特許出願第２９／６９２，９９６号、及び米国意匠特許出願第２９／６９２，９９７号のそれぞれの開示は、すべての目的において、その全体が本明細書中に提示されているかのように、引用により本明細書中に補充される。
【技術分野】
【０００３】
本開示は、一般に、容器を保持し、陳列し、及び／又は輸送するためのカートン又はキャリアに関する。
【発明の概要】

【０００４】
本開示の一態様によれば、複数の容器を保持するためのキャリアは、頂部パネルと、少なくとも１つの中央パネルと、複数の容器のうちの１つ以上の容器の一部を受け入れるように構成された少なくとも１つの取り付けパネルとを含む複数のパネルを備える。少なくとも１つの中央パネルは、複数の容器の隣接する容器の間に位置決めされ、かつ、容器に取り付けられる。キャリアは、複数の容器のうちの少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能な少なくとも１つのアクセス機構をさらに備え、少なくとも１つのアクセス機構は、頂部パネルの周縁部分と、少なくとも１つの取り付けパネルの周縁部分とを備える。
【０００５】
本開示の別の態様によれば、複数の容器を保持するためのキャリアを形成するためのブランクは、頂部パネル、少なくとも１つの中央パネル、及び少なくとも１つの取り付けパネルを含む複数のパネルと、頂部パネルの周縁部分及び少なくとも１つの取り付けパネルの周縁部分を含む少なくとも１つのアクセス機構とを備える。少なくとも１つのアクセス機構は、キャリアがブランクから形成されたときに複数の容器の少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能であり、少なくとも１つの中央パネルは、キャリアがブランクから形成されたときに、複数の容器の隣接する容器の間に位置決めされ、かつ、それに取り付けられる。
【０００６】
本開示の別の態様によれば、複数の容器を保持するためのキャリアを形成する方法であって、本方法は、頂部パネル、少なくとも１つの中央パネル、及び少なくとも１つの取り付けパネルを含む複数のパネル、並びに頂部パネルの周縁部分及び少なくとも１つの取り付けパネルの周縁部分を含む少なくとも１つのアクセス機構とを含むブランクを得ることを含む。本方法は、少なくとも１つの中央パネルが複数の容器の隣接する容器間に位置決めされるように複数のパネルを折り曲げることと、少なくとも１つの容器を少なくとも１つの中央パネルに取り付けることをさらに含み、少なくとも１つのアクセス機構は、複数の容器のうち少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能である。
【０００７】
本開示の別の態様によれば、パッケージは、複数の容器と、複数の容器を保持するためのキャリアとを備える。キャリアは、頂部パネルと、少なくとも１つの中央パネルと、複数の容器のうち１つ以上の容器の一部を受け入れる少なくとも１つの取り付けパネルとを含む複数のパネルを備え、少なくとも１つの中央パネルは、複数の容器の隣接する容器間に位置決めされ複数の容器のうちの隣接する容器に取り付けられる。キャリアは、複数の容器のうち少なくとも１つの容器へのアクセスを可能にするために位置決め可能な少なくとも１つのアクセス機構をさらに備え、少なくとも１つのアクセス機構は、頂部パネルの周縁部分と、少なくとも１つの取り付けパネルの周縁部分とを備える。
【０００８】
当業者であれば、以下に記載する図面を参照して、以下の詳細な説明を読むことで、上述の利点と様々な追加の実施形態の他の利点を理解するであろう。上述した態様が、個別に及び様々な組み合わせで提供されることは、本開示の範囲内である。
【０００９】
一般的な慣習によると、以下に説明する図面の様々な特徴は、必ずしも縮尺通りに描かれていない。図面中の様々な特徴及び要素の寸法は、本開示の実施形態をより明確に示すために拡大又は縮小され得る。
【００１０】
対応する部品は、図面全体にわたって対応する参照番号によって指定される。
【図面の簡単な説明】
【００１１】
【図１】本開示の第１の例示的な実施形態によるキャリア及びパッケージを形成するためのブランクの外面の平面図。

【図２】第１の例示的な実施形態によって図１のブランクから形成されたキャリアの部分的に折り曲げられた構成の斜視図。
【図３】第１の例示的な実施形態によって図１のブランクから形成されたキャリアの別の部分的に折り曲げられた構成の斜視図。
【図４】第１の例示的な実施形態によって図１のブランクから形成され、そこから取り外される容器を有するキャリアの正面図。
【図５】図４のキャリアであって、そこから取り外される容器を有する状態の背面図。
【図６】第１の例示的な実施形態によって図１のブランクから形成された別の部分的に折り曲げられたキャリアの斜視図。
【図７】第１の例示的な実施形態によって図１のブランクから形成され、第１の構成におけるアクセス機構を有するパッケージ及びキャリアの斜視図。
【図８】第２の構成におけるアクセス機構を有する、図７のパッケージ及びキャリアの斜視図。
【図９】第２の構成における一つのアクセス機構を有する、図７のパッケージ及びキャリアの別の斜視図。
【図１０】図９のパッケージ及びキャリアであって、そこから取り外される容器を有する状態の斜視図。
【図１１】本開示の第２の例示的実施形態によってキャリア及びパッケージを形成するためのブランクの外面の平面図。
【発明を実施するための形態】
【００１２】
本開示は、一般に、ビン、ボトル、缶などの容器を保持および表示するためのキャリア、パッケージ、構築物、スリーブ、カートンなどに関する。容器は、例えば食品および飲料製品を包装するために使用することができる。容器は、特定の食品または飲料品を包装するのに適した組成の材料から作ることができ、その材料は、ガラスや、ＰＥＴ、ＬＤＰＥ、ＬＬＤＰＥ、ＨＤＰＥ、ＰＰ、ＰＳ、ＰＶＣ、ＥＶＯＨ、およびナイロンなどのプラスチック、アルミニウムおよび／または他の金属、またはそれらの任意の組み合わせが含まれるが、これらに限定されない。
【００１３】
本開示によるキャリアは、多数の異なる形状の容器を収容することができる。本開示の範囲を限定する目的ではなく例示を目的として、以下の詳細な説明は、キャリアの実施形態内に少なくとも部分的に配置される飲料容器（例えば、アルミニウム缶）について説明する。本明細書において、「下方」、「底」、「上方」、「頂」、「前方」、および「後方」という用語は、完全に起立したキャリアに対して決定される方向を示す。
【００１４】
本明細書に記載されるように、キャリアは、複数の重複するパネル、エンドフラップ、および／またはブランクの他の部分によって形成されてもよい。そのようなパネル、エンドフラップ、および／またはブランクの他の部分は、本開示から逸脱することなく、互いに対して相対的な用語、例えば「第１」、「第２」、「第３」など順次または非順次の参照で指定することができる。
【００１５】
図１は、本開示の第１の例示的実施形態によるキャリア１０５（図７）を形成するために用いられるブランク１０３の外面１０１の平面図を示す。キャリア１０５は、６つの容器を収容又は支持するようにサイズ設定することができ、３つの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３がキャリア１０５の前方部分１０６に取り付けられ、３つの容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３がキャリア１０５の後方部分１０８に取り付けられる。図示の実施形態では、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３は、飲料缶であってもよく、又は開示から逸脱することなく、任意の他の適切なタイプ及びサイズの容器であり得る。キャリア１０５は、６つより多い又は少ない容器を保持するためのサイズ及び形状にすることができる。一実施形態では、キャリア１０５の前方部分１０６及び後方部分１０８は各々３つの

容器を有し、他の実施形態では、キャリア１０５の前方部分１０６及び後方部分１０８は開示から逸脱することなく３つより多い又は少ない容器を運ぶことができる。キャリア１０５は、１つ以上の容器と共にパッケージ１１０（図７）として提供され得る。

【００１６】

図１に示されるように、ブランク１０３は、長手方向軸Ｌ１及び横方向軸Ｌ２を有する。ブランク１０３は、キャリア１０５の前方部分１０６を形成する前方部分１０７と、キャリア１０５の後方部分１０８を形成する後方部分１０９とを有する。ブランク１０３の前方部分１０７と後方部分１０９とは、図示するように、ブランク１０３の横方向中心線ＣＬを形成する横方向折り線１１２で折り曲げられて接続されている。以下にさらに説明するように、ブランク１０３の前方部分１０７と後方部分１０９とが少なくとも部分的に面対面接触で重なり合うように、中心線ＣＬに沿って折り線１１２でブランク１０３を折り曲げることによって、ブランク１０３は、キャリア１０５内に少なくとも部分的に形成される。

【００１７】

図示の実施形態では、ブランク１０３の前方部分１０７は、横方向に間隔を置いて配置された接着剤又は接着剤開口１２７ａの第１の前方列ＲＦ１と、横方向に間隔を置いて配置された接着剤又は接着剤開口１２７ａの第２の前方列ＲＦ２とを有する前方中央パネル１２５ａを備える。第１の列ＲＦ１のそれぞれの接着剤開口１２７ａの上端は、第２の列ＲＦ２のそれぞれの接着剤開口１２７ａの上端が折り線１１２から離間している長手方向距離Ｄ２よりも小さい長手方向距離Ｄ１だけ折り線１１２から離間している。

【００１８】

前方容器保持パネル又は前方取付けパネル１３１ａは、横方向折り線１３３ａで前方中央パネル１２５ａに折り曲げ可能に接続され、それぞれが一つ以上の湾曲及び／又は角度部分を含むことができる長手方向に間隔を置いて配置された切込み１４１ａのそれぞれの対によって中断された一対の長手方向に間隔を置いて配置された横方向折り線１３７ａ、１３９ａ（大まかには、それぞれの「第２の折り線」）の間に少なくとも部分的に画定された容器保持部分１３５ａを含む。図示のように、長手方向に間隔を置いて配置された切込み１４１ａは、容器保持部分１３５ａから外側に延在する容器保持タブ１４８ａを画定する。また、図示のように、それぞれの斜め切込み１４３ａ、１４５ａは、それぞれの容器保持タブ１４８ａに面する前方取付けパネル１３１ａの複数の再構成可能な縁部を画定するように、それぞれの切込み１４１ａから外側に延在している。

【００１９】

図示のように、取付けパネル１３１ａの内部周縁部分１３６ａは、折り線１３７ａ、１３３ａの間に画定され、取付けパネル１３１ａの外側周縁部分１３８ａは、折り線１３９ａと横方向折り線１７１ａの間に画定される。

【００２０】

ブランク１０３は、折り線１３３ａを中断し、前方中央パネル１２５ａの一部から前方取付けパネル１３１ａの一部に延在する一対のハンドル開口１３０ａを含むことができる。図示のように、ハンドル開口１３０ａは、長手方向軸線Ｌ１に平行に延在する長手方向部分１３２ａと、横方向軸線Ｌ２と実質的に平行な関係において交差及び分岐して長手方向部分１３２ａから直行して離れる一対の横方向部分１３４ａとを含むことができる。この点に関し、ハンドル開口１３０ａの分岐部分１３２ａ、１３４ａは互いに連通している。本明細書でさらに説明するように、ハンドル開口１３０ａの部分１３２ａ、１３４ａは、消費者がキャリア１０５を異なる配向でつかむことができる複数の係合面を提供する。また、示されるように、補強フラップ１３６ａは、それぞれの湾曲した折り線１４０ａで各取付けパネル１３１ａに折り曲げ可能に接続されており、各長手方向部分１３２ａ内に延在している。キャリア１０５は、本開示から逸脱することなく、ハンドル機能部の異なる構成を有することができ、又はハンドル機能部を欠くことができる。

【００２１】

ブランク１０３は、横方向折り線１７１ａで前方取付けパネル１３１ａに折り曲げ可能

に接続されるベベルまたは前方側面パネル１６９ａと、横方向折り線１７５ａで前方側面パネル１６９ａに折り曲げ可能に接続される頂部パネル１７３とをさらに含む。図示のように、頂部パネル１７３は、一対の対向する湾曲切込み１７７、１７９と、一対のハンドルフラップ１８３、１８５を画定するために湾曲切込み１７７から湾曲カット１７９に延在する長手方向切込み１８１をそれぞれ含む追加のハンドル機能部（大まかには、「第１ハンドル機能部」及び「第２ハンドル機能部」）を含む。一対の長手方向の弱化線１８７、１８９及び一対の横方向弱化線１９０、１９１は、本明細書にさらに説明するように、少なくとも部分的に再構成可能な配置を提供するように、各フラップ１８３、１８５の一部に沿って延在する。一実施形態では、弱化線１８７、１８９、１９０、１９１のうちの一つ以上は、エンボス又はデボス機能部のような表面機能部であり得る。キャリア２０５のハンドル機能部は、頂部パネル１７３のハンドル機能部を含み、ハンドル開口１３０ａ、１３０ｂを含むこともできる。キャリア１０５は、本開示から逸脱することなく、ハンドル機能部の異なる構成を有することができ、又はハンドル機能部を欠くことができる。

【００２２】

さらに図１を参照すると、頂部パネル１７３は、それらの間に中央部分１９７を画定する一対の横方向に間隔を置いて配置された折り線１９３、１９５（大まかには、それぞれ「第１の折り線」及び「第２の折り線」）をさらに含み、これらはさらに折り線１７５ａ、１９３の間に画定された頂部パネル１７３の第一周縁部分１９９と、折り線１９５と頂部パネル１７３の横方向自由縁部の間に画定された頂部パネル１７３の第二周縁部分２０１とを画定する。この点に関して、頂部パネル１７３の第一周縁部分１９９は、折り線１９３と前方側面パネル１６９ａとの間に画定される。

【００２３】

本明細書にさらに説明されるように、キャリア１０５の形成時に、頂部パネル１７３の中央部分１９７は、前方取付けパネル１３１ａの容器保持部分１３５ａ及び後方取付けパネル１３１ｂの容器保持部分１３５ｂのそれぞれの部分とほぼ重なって整列するように位置付けられ、頂部パネル１７３の第一周縁部分１９９は、後方取付けパネル１３１ｂの外側周縁部分１３８ｂとほぼ整列するように位置付けられ、頂部パネル１７３の第二周縁部分２０１は、前方取付けパネル１３１ａの外側周縁部分１３８ａとほぼ整列するように位置付けられる。

【００２４】

図示の実施形態では、ブランク１０３の後方部分１０９は、後方中央パネル１２５ｂと、ブランク１０３の前方部分１０７の対応するパネル及びフラップのほぼ鏡像である関連する特徴を有する後方容器保持パネル又は後方取付けパネル１３１ｂとを含む。対応する構成要素（例えば、パネル、フラップ、折り線、切込みなど）は、「ａ」又は「ｂ」の接尾辞によって異なる対応する参照番号によって指定され、「ａ」構成要素はブランク１０３の前方部分１０７に対応し、「ｂ」構成要素はブランク１０３の後方部分１０９に対応する。ブランク１０３の後方部分１０９は、さらに、横折り線１７１ｂで後方取付けパネル１３１ｂに折り曲げ可能に接続された後方側面パネル１６９ｂと、横方向折り線１７５ｂで後方側面パネル１６９ｂに折り曲げ可能に接続された取付けフラップ２０３とを備える。

【００２５】

図示のように、一対のほぼＵ字形の切込み１５７は、中心線ＣＬから延在し、横方向に間隔を置いて配置された接着剤開口１２７ｂの第一の後方横方向列ＲＢ１のそれぞれの接着剤開口１２７ｂの上端を画定するそれぞれの横方向部分を有する。図示のように、接着剤開口１２７ｂの第一の横方向列ＲＢ１の各接着剤開口１２７ｂの上端は、接着剤開口１２７ｂの第二の後方横方向列ＲＢ２の各接着剤開口１２７ｂの上端が折り線１１２から離間している長手方向距離Ｄ４よりも小さい長手方向距離Ｄ３だけ折り線１１２から離間している。

【００２６】

この点に関し、ブランク１０３は、中心線ＣＬからそれぞれ長手方向距離Ｄ１、Ｄ２だ

け離間された横方向に離間された前方接着剤開口１２７ａの前方列ＲＦ１及びＲＦ２と、中心線ＣＬからそれぞれ長手方向距離Ｄ３、Ｄ４だけ離間された横方向に離間された後方接着剤開口１２７ｂの後方列ＲＢ１及びＲＢ２とを備えている。接着剤開口１２７ａ、１２７ｂは、Ｄ２＞Ｄ４＞Ｄ１＞Ｄ３となるように、長手方向に千鳥状に配置されている。ブランク１０３からキャリア１０５の形成時に、長手方向中心線ＣＬ／折り線１１２は、中央パネル１２５ａ、１２５ｂの下端を形成することができる。

【００２７】

本明細書で説明されるように、接着剤開口１２７ａ、１２７ｂの配置は、キャリア１０５の組立時に、接着剤開口１２７ａ、１２７ｂがそれぞれの中央パネル１２５ｂ、１２５ａの複数の表面のそれぞれにアクセスを提供し、その上にそれぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３を取り付けて、キャリア１０５による容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３の保持及び支持を強化することができるようになっている。

【００２８】

パネル、フラップ、折り線、切込み、又は他の特徴のいずれも、開示から逸脱することなく、ブランク１０３から他の形状にし、配置し、及び／又は省略することができる。ブランク１０３は、本開示から逸脱することなく、４つよりも多い又は少ない容器を収容するためのサイズ及び／又は形状にすることができる。

【００２９】

図２に示すように、前方取付けパネル１３１ａの容器保持部分１３５ａが容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３に重なるように、また後方取付けパネル１３１ｂの容器保持部１３５ｂが容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３に重なるように、ブランク１０３の内面又は下面を容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３の頂上に位置付けすることができる。容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３の複数を覆う取付けパネル１３１ａ、１３１ｂのさらなる下方への配置は、各容器保持部分１３５ａ、１３５ｂを作動させて各容器に係合させることができる。例えば、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３に前方取付けパネル１３１ａが下降又は下方に付勢されると、容器保持部分１３５ａは、切込み１４１ａにおいて前方取付けパネル１３１ａの残りの部分から少なくとも部分的に分離することができる。このような配置では、それぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３の上部又は頂部Ｔは、容器保持タブ１４８ａが、例えばそれぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３のリム又は他の上部構造の凹部に係合することができ、また周縁部分１３６ａ、１３８ａの複数の再構成可能な縁部が、例えばそれぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３のロール状リム縁部又は他の頂部構造に係合することができるように、それぞれの切込み１４１ａによって形成されたそれぞれの開口を通って少なくとも部分的に延在することができる。

【００３０】

後方取付けパネル１３１ｂの対応する部分のこのような再構成は、後方取付けパネル１３１ｂが容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３に下降又は下方に付勢されるときに生じ得る。上述した各容器保持部分１３５ａ、１３５ｂの各容器との係合の間、取付けパネル１３１ａの周縁部分１３６ａ、１３８ａは、このような構成において、各折り線１３７ａ、１３９ａにおいて、少なくとも部分的に下方に折り曲げ可能であり、同様に、取付けパネル１３１ｂの周縁部分１３６ｂ、１３８ｂは、各折り線１３７ｂ、１３９ｂにおいて、少なくとも部分的に下方に折り曲げ可能である。

【００３１】

さらに図３を参照すると、前方中央パネル１２５ａ及び後方中央パネル１２５ｂが矢印Ａ１、Ａ２の方向に少なくとも部分的に面対面接触して、それぞれの隣接する容器の間に位置決めされるように、及びそれぞれの接着剤開口１２７ａ、１２７ｂが、横方向に位置合わせされるが、上述のように、折り線１１２から離れた前方接着剤開口１２７ａのそれぞれの列ＲＦ１、ＲＦ２及び後方接着剤開口１２７ｂのそれぞれの列ＲＢ１、ＲＢ２の異なる相対的間隔によって長手方向にオフセットするように位置決めされるように、前方中央パネル１２５ａ及び後方中央パネル１２５ｂは折り線１１２で折り曲げられ得る。

【００３２】
この点に関して、中央パネル１２５ａ、１２５ｂは、前方中央パネル１２５ａの一部が接着剤開口１２７ｂの各々に重なり、後方中央パネル１２５ｂの一部が接着剤開口１２７ａの各々に重なるように配置されて、本明細書でさらに説明するように、中央パネル１２５ａ、１２５ｂと、それぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３を接着又はその他の方法で取り付けることができるそれぞれの表面との間に連絡を提供する。このような中央パネル１２５ａ、１２５ｂの再配置は、それぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂがそれぞれの折り線１３３ａ、１３３ｂにおいてそれぞれの取付けパネル１３１ａ、１３１ｂに対して下方に折り曲げられ得る。
【００３３】
図示を明確にするためにそれぞれの容器ＣＡ３、ＣＢ３を取り除いた図４及び５を参照すると、それぞれの接着剤開口１２７ａを通して露出する中央パネル１２５ｂのそれぞれの部分に容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３を接着するために接着剤Ｇを供給することができ、またそれぞれの接着剤開口１２７ｂを通して露出する中央パネル１２５ａのそれぞれの部分に容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３を接着するために接着剤Ｇを供給することができる。それぞれの接着剤開口１２７ａ、１２７ｂの複数の列の配置は、それぞれの容器がそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂへの強固な取付けを備えるように、それぞれの容器のそれぞれの対向する中央パネル１２５ａ、１２５ｂへの複数の取付け点を提供する。容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３及び容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂへの取付けは、それぞれの容器保持部分１３５ａ、１３５ｂによって提供される容器保持及び支持に加えて、又はそれに代えて、例えば、容器が自身の重量でキャリア１０５から離脱しないように、それぞれの容器の保持及び支持を提供することができる。例えば、一実施形態では、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のうちの１つ以上を、上記のような容器保持部によって提供される追加の保持及び支持なしに、接着剤Ｇを用いてそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂに取り付けることができる。
【００３４】
本明細書に記載される接着剤Ｇは、例えば、ホットメルト接着剤、高粘着性接着剤、エポキシ、ポリマーセメントなど、又はそれらの組み合わせであり得る。接着剤Ｇは、開示から逸脱することなく、異なる配置を有することができる。例えば、一実施形態では、接着剤Ｇをブランク１０３／キャリア１０５の外面の１つ以上の部分に塗布することができる。
【００３５】
接着剤Ｇによるそれぞれの容器のそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂへのこのような強化された取付けは、例えば、中央パネル１２５ａ、１２５ｂがそれらの間で圧縮されるようにそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対向する接着力を提供することによって、キャリア１０５に対する強化された統合性を提供することもできる。例えば、一実施形態では、キャリア１０５が持ち上げられたときに、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３は、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３の少なくとも部分的な重量の下で、前方中央パネル１２５ａに向かってそれぞれの接着剤開口１２７ａを介してそれらが取り付けられている後方中央パネル１２５ｂの部分を少なくとも部分的に引っ張ることができる。前方中央パネル１２５ａのそれぞれの部分は、同様の方法で、容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３によって、接着剤開口１２７ｂを介して後方中央パネル１２５ｂに向けて引っ張ることができる。
【００３６】
図６及び７を参照すると、前方側面パネル１６９ａは、例えば、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３に対して斜めの配置となるように、折り線１７１ａで上方に折り曲げられ、頂部パネル１７３は、取付けパネル１３１ａ、１３１ｂの少なくとも一部と少なくとも部分的に面対面接触するように折り線１７５ａで概ね矢印Ａ３の方向に折り曲げられ得る。同様に、後方側面パネル１６９ｂは、折り線１７１ｂにおいて上方に折り曲げられ、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３と斜めの配置とすることができ、取付けフラップ２０３は、折り線１７５ｂにおいて概ね矢印Ａ４の方向に折り曲げ

られ、頂部パネル１７３及び／又は取付けパネル１３１ｂと少なくとも部分的に面対面接触させることができる。このような構成は、接着剤のような接着物質で維持することができる。

【００３７】

それぞれのハンドルフラップ１８３、１８５は、それぞれの切込み１７７、１７９において頂部パネル１７３から少なくとも部分的に分離され、それぞれの切込み１８１において互いに分離され、キャリア１０５／パッケージ１１０の内部部分へ下向きに折り曲げられ又は屈曲され得る。ハンドル開口１３０ａ、１３０ｂは、このような構成においてハンドルフラップ１８３、１８５が下方に延在するための隙間を提供する。一実施形態では、ハンドルフラップ１８３、１８５の一方又は両方は、例えば、それぞれのハンドルフラップ１８３、１８５の少なくとも中央部分が隣接する容器の間に位置決めされ得るように、それぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のうちの１つ以上に対して輪郭又は角度を付けるように、再構成可能に配置されて設けられ得る。

【００３８】

一実施形態では、それぞれのハンドルフラップ１８３、１８５の周縁部分は、例えば、消費者の指がキャリア１０５／パッケージ１１０及び／又はそれぞれの容器の縁部又は角部と接触するのを最小化又は防止するために、消費者の指を少なくとも部分的に包み込むか又は囲むことができる。さらに、上述したように、それぞれのハンドル開口１３０ａ、１３０ｂのそれぞれの長手方向部分１３２ａ、１３２ｂ及びそれぞれの横方向部分１３４ａ、１３４ｂの分岐する特質は、消費者が複数の方向、例えば横方向又は長手方向、又はそれらの間の方向からキャリアに係合することができるように、キャリア１０５を係合及び持ち上げるための複数の縁部及び表面を消費者が得ることを可能にする。

【００３９】

ハンドル開口１３０ａ、１３０ｂがそれぞれの長手方向部分１３２ａ、１３２ｂの縁部で係合されるならば、それぞれの補強フラップ１３６ａ、１３６ｂは、例えば三層構成で、顧客の指とそれぞれの取付けパネル１３１ａ、１３１ｂとの間に追加の補強構造を提供するために、それぞれの湾曲した折り線１３８ａ、１３８ｂにおいて少なくとも部分的に下方に折り曲げることができる。

【００４０】

図８～１０を追加で参照すると、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のうちの１つ以上の取り外しを容易にするためのキャリア１０５の少なくとも部分的な再構成が、本開示の例示的な実施形態に従って説明される。

【００４１】

図７及び８に示すように、頂部パネル１７３の第一周縁部分１９９及び第二周縁部分２０１の一方又は両方は、それぞれの折り線１９３、１９５において少なくとも部分的に上方に折り曲げることができる。第一周縁部分１９９の上方への移動は、前方パネル１６９ａ及び前方取付けパネル１３１ａの外側周縁部分１３８ａをそれと共に運ぶことができ、これにより、第一周縁部分１９９、前方パネル１６９ａ及び外側周縁部分１３８ａは、共に、キャリア１０５の前方部分１０６内の容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３への少なくとも部分的なアクセスを提供する、関節式アクセス機構２０５（広い意味での「第一アクセス機構」）を形成することができる。同様に、頂部パネル１７３の第二周縁部分２０１、周縁部分２０１にアンダーラップされた取付けフラップ２０３、後方パネル１６９ｂ、及び外側周縁部分１３８ｂは、共に、キャリア１０５の後方部分１０８内の容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３への少なくとも部分的なアクセスを提供する、関節式アクセス機構２０７（広い意味での「第二アクセス機構」）を形成することができる。

【００４２】

例えば、アクセス機構２０５は、例えば、頂部パネル１７３の第一周縁部分１９９、前方パネル１６９ａ、及び／又は取付けパネル１３１ａの外側周縁部分１３８ａの部分の周りに指を巻いて、これらのパネル／部分が、それぞれの頂部パネル１７３及び取付けパネル１３１ａの整列した折り線１９３、１３９ａで少なくとも部分的に折り曲げて関節運動

するように上方に持ち上げることによって、顧客によって把持されることができる。一実施形態では、折り線１９３、１３９ａは、オフセット関係で位置決めすることができる。

【００４３】

アクセス機構２０５のそのような動きは、例えば、それぞれの取付けパネル１３１ａに沿ったそれぞれの切込み１４１ａによって形成された開口を通してそれぞれの容器の頂部Ｔを引き抜くことによって、取付けパネル１３１ａから容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３のうちの１つ以上の少なくとも部分的な解放を引き起こすことが可能である。

【００４４】

同様に、アクセス機構２０７は、頂部パネル１７３の第二周縁部分２０１、後方パネル１６９ｂ、及び／又は外側周縁部分１３８ｂの部分の周りに指を巻いて、それぞれの頂部パネル１７３及び取付けパネル１３１ａの整列した折り線１９５、１３９ｂで上方に持ち上げることにより、顧客によって把持されることができ、これによりキャリア１０５の後方部分１０８の容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３へのアクセスを提供する。アクセス機構２０７のそのような動きは、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３に関して上述したように、取付けパネル１３１ｂから容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のうちの１つ以上の少なくとも部分的な解放を引き起こすことができる。一実施形態では、折り線１９５、１３９ｂは、オフセット関係で位置決めすることができる。

【００４５】

したがって、アクセス機構２０５、２０７は、それぞれ、頂部パネル１７３の周縁部分１９９、２０１の一方又は両方が中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対して概ね垂直である第一の構成／位置と、例えば周縁部分１９９、２０１が容器へのアクセスを可能にするために中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対して平行又は斜めに配置されるような、頂部パネル１７３の周縁部分１９９、２０１の一方又は両方が中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対して概ね上昇または直立する第二の構成／位置との間で再構成可能／位置決め可能である。アクセス機構２０５、２０７の第二の構成では、それぞれの取付けパネル１３１ａ、１３１ｂの少なくともそれぞれの周縁部分１３８ａ、１３８ｂも、中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対して概ね上昇又は直立させることができる。

【００４６】

一実施形態では、それぞれの取付けパネル１３１ａ、１３１ｂの各周縁部分１３８ａ、１３８ｂは、アクセス機構２０５、２０７が第一の構成／位置にあるとき、中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対して概ね垂直であると考えることができる。

【００４７】

アクセス機構２０５、２０７は、上述したアクセス機構２０５、２０７の動きを逆転させることによって、第二の構成／位置からそれぞれ再構成／位置決めされ得ることが理解されよう。例えば、アクセス機構２０５、２０７は、中央パネル１２５ａ、１２５ｂに対して概ね垂直な配置に向かって、それぞれの折り線１９３、１３９ａ及び折り線１９５、１３９ｂにおいて少なくとも部分的に下方に折曲げることができる。アクセス機構２０５、２０７のそのような動きは、上述したように、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３及びＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のうちの１つ以上をそれぞれの取付けパネル１３１ａ、１３１ｂと少なくとも部分的に再係合させることができる。

【００４８】

第二のアクセス機構２０７のみが第二の構成／位置に示されている図９及び１０に示すように、それぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３は、それぞれの容器をそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂから剥がすことにより、キャリア１０５からさらに取り外すことができる。容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３をそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂから剥がす、又は引っ張ることは、接着剤Ｇによって提供されるそれぞれの容器とそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂとの接着結合を克服するのに十分な力でそれぞれの容器を引っ張ることを含むことができる。一実施形態では、例えば、取り除かれるときに容器上に接着剤Ｇがほとんど、又は全く残らないように、接着剤Ｇは、それぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂ上に残るように選

択することができる。

【００４９】

一実施形態では、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３のうちの１つ以上は、容器を接着剤Ｇのそれぞれの領域に押し付けることによって、それぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂに再び取り付けることができる。

【００５０】

本開示から逸脱することなく、接着剤開口の異なる数の列又は配列を提供することができ、中央パネルは、そのような配列に適合するようにサイズ調整及び構成をすることができることが理解されよう。一実施形態では、中央パネル１２５ａ、１２５ｂは、それぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３及びＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３がそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂにのみ接着されるように、接着剤開口を欠くことができる。別の実施形態では、それぞれの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３が両方の中央パネル１２５ａ、１２５ｂの部分に接着できるように、それぞれの接着剤開口１２７ｂ、１２７ａを通って露出するそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂの部分と、それぞれの接着剤開口１２７ａ、１２７ｂに隣接するそれぞれの中央パネル１２５ａ、１２５ｂの部分の両方に接着剤Ｇを供給することができる。

【００５１】

上述したキャリア１０５／パッケージ１１０は、例えば、原材料節約及び廃棄物削減を提供することができるコンパクトな構造を有する。さらに、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３、及び中央パネル１２５ａ、１２５ｂの間の接着剤Ｇの配置は、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３を保持して運ぶための強固な構造をもたらす複数の取付け点を提供する。さらに、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３の１つ以上の部分をキャリア１０５／パッケージ１１０の外側部分に露出させることにより、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３に関連するラベル又は表面グラフィックを消費者に明確に見せるとともに、容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３、ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３の１つ以上をキャリア１０５／パッケージ１１０から取り外すための便利なアクセスを得ることができる。

【００５２】

さらに図１１を参照すると、本開示の第二の例示的実施形態によるキャリア２０５を形成するためのブランク２０３が示されている。ブランク２０３及びキャリア２０５は、第一の実施形態のブランク１０３及びキャリア１０５と同様の１つ以上の特徴を有することができ、同種又は類似の参照番号は、同種又は類似の特徴を指す。

【００５３】

図示のように、ブランク２０３の取付けパネル１３１ａ、１３１ｂは、キャリア２０５が６つの容器を支持し保持するようにサイズ設定され、構成されるように、それぞれの３つの横方向に間隔を置いた切込み１４１ａ、１４１ｂをそれぞれ備え、キャリア２０５の前部２０６に３つの容器ＣＡ１、ＣＡ２、ＣＡ３があり、キャリア２０５の後部２０８に３つの容器ＣＢ１、ＣＢ２、ＣＢ３がある。

【００５４】

また図示のように、Ｕ字形切込み１５７は、折り線１１２を中断して、中心線ＣＬから離れる方向に延在するそれぞれのタブ１５９を画定する。ブランク２０３からキャリアが形成されると、タブ１５９は、それぞれの切込み１５７において中央パネル１２５ｂの周囲の材料から分離して、第１の後方列ＲＢ１の一対の接着剤開口１２７ｂを露出させることができる。

【００５５】

本明細書に記載されるブランク及びキャリアは、本開示から逸脱することなく、異なる構成で提供できることが理解されよう。

【００５６】

一般に、ブランクは、通常の紙よりも重く、より剛性であるように、キャリパー（厚さ）を有する板紙から構成され得る。ブランクはまた、段ボールのような他の材料、又はキ

ャリアが少なくとも一般的に上記のように機能することを可能にするのに適した特性を有する任意の他の材料で構成することができる。ブランクは、例えば粘土コーティングでコーティングすることができる。次に、粘土コーティングは、製品、広告、及び他の情報又は画像で覆って印刷され得る。さらに、ブランクに印刷された情報を保護するために、ブランクをニスでコーティングされることができる。また、ブランクは、ブランクの片面又は両面に、例えば、防湿層でコーティングされてもよい。ブランクはまた、選択されたパネル又はパネル部分において、１つ以上のシート状材料にラミネート又はコーティングすることができる。

【００５７】

本明細書に記載されるように、弱化線は、１つ以上の引裂き線、切込み線などを含むことができる。一例として、引裂き線は、所望の弱化線に沿って材料内に部分的に延在するスリット、及び／又は所望の弱化線に沿って材料内に部分的に及び／又は材料を完全に貫通して延在する離間した一連のスリット、又はこれらの特徴の様々な組み合わせを含むことができる。より具体的な例として、１つのタイプの引裂き線は、材料を完全に貫通して延在する一連の離間されたスリットの形態であり、隣接するスリットはわずかに離間されており、その結果、ニック（例えば、材料の小さないくぶん橋渡しのような部分）が、典型的には引裂きラインを横切って材料を一時的に接続するために隣接するスリット間に画定される。ニックは、引裂き線に沿って引き裂く際に破損する。ニックは、典型的には、引裂き線の比較的小さな割合であり、代替的にニックは、引裂き線が連続的な切込み線であるように、引裂き線から省略されるか、又は引裂き線で引裂かれることができる。すなわち、引裂き線のそれぞれが連続したスリット等で置き換えられることは、本開示の範囲内である。例えば、切込み線は、本開示から逸脱することなく、連続したスリットであってもよく、又はスリットよりも広い幅でもよい。

【００５８】

例示的な実施形態に従って、折り線は、必ずしも直線である必要はないが、それに沿った折り曲げることを容易にする任意の実質的に直線状の弱化の形態であり得る。本開示の範囲を狭める目的のためではないが、より具体的には、折り線は、所望の弱化線に沿って材料内に潰れた又は凹んだ部分を形成する、鈍いスコアリングナイフ等で形成された線のようなスコア線と、所望の弱化線に沿って材料に部分的に延在する切込み、及び／又は、所望の弱化線に沿って材料に部分的に及び／又は完全に通って延在する一連のカットと、及びこれらの特徴の様々な組み合わせを含む。折り線を形成するために切込みを入れられる状況では、典型的には、合理的なユーザが折り線を引裂き線であると誤る可能性があるような態様で、切込みが過度に拡大されることはない。

【００５９】

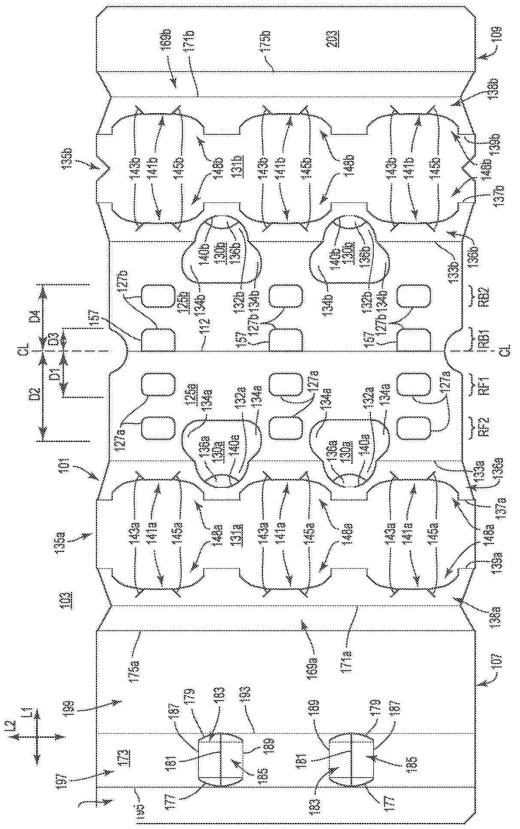
上記の実施形態は、キャリア実施形態の組立中に接着剤によって一緒に接着された１つ以上のパネルを有するものとして説明され得る。用語「接着剤」は、所定の位置にキャリアパネルを固定するために一般的に使用されるあらゆる種類の接着物質を包含することを意図する。

【００６０】

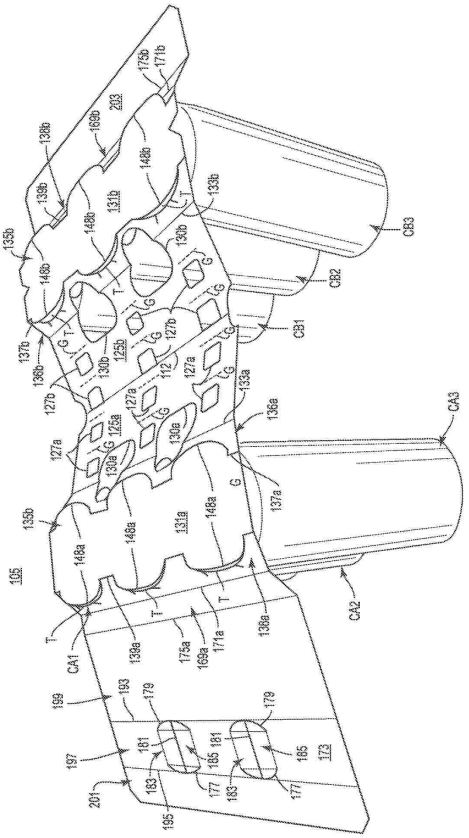
本開示の前述の記載は、様々な例示的実施形態を例示し、説明する。本開示の精神及び範囲から逸脱することなく、例示的な実施形態に対して様々な追加、修正、変更などを行うことができる。上記の説明に含まれる、又は添付の図面に示されるすべての事項は、限定的な意味ではなく、例示として解釈されるものとする。さらに、本開示は、本開示の選択された実施形態のみを示し、説明するが、本開示は、様々な他の組み合わせ、修正、及び環境において使用することができ、上述の教示に相応して、及び関連する技術のスキル又は知識の範囲内で、本明細書に表現される本発明の概念の範囲内で変更又は修正することができる。さらに、各実施形態の特定の特徴及び特性は、本開示の他の図示及び不図示の実施形態に選択的に入れ替え及び適用され得る。

【図面】

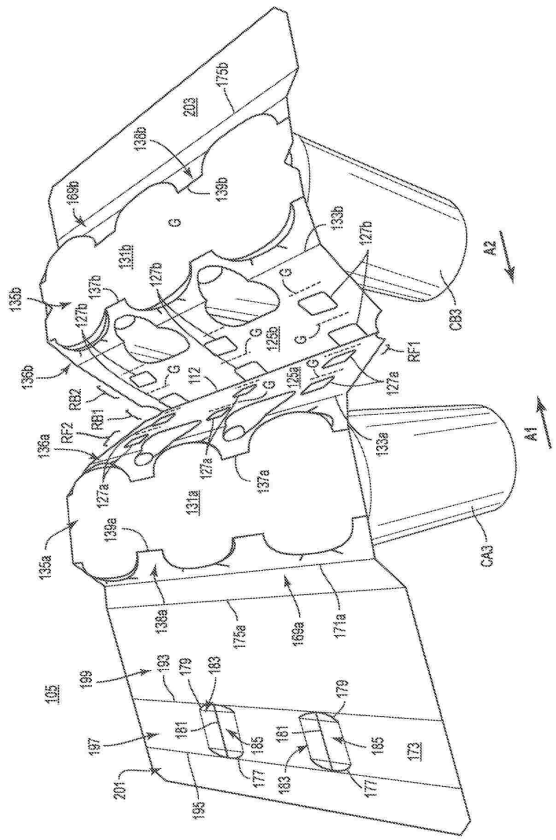
【図１】



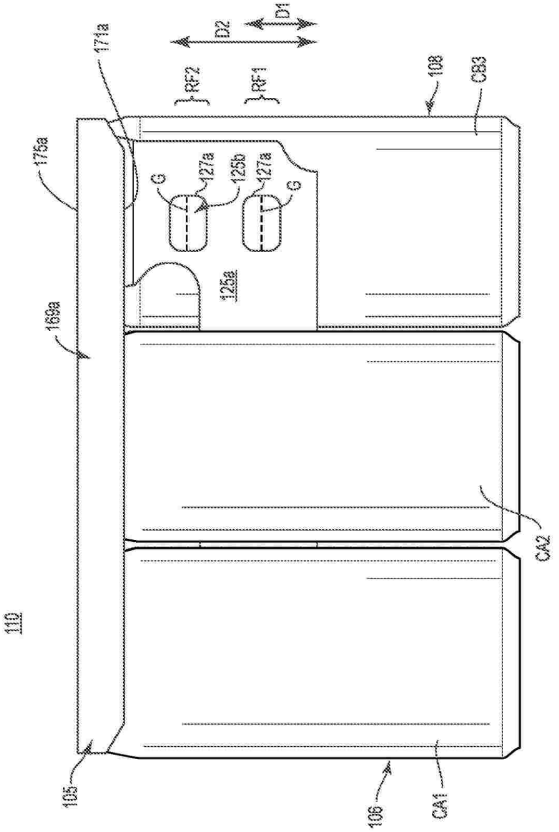
【図２】



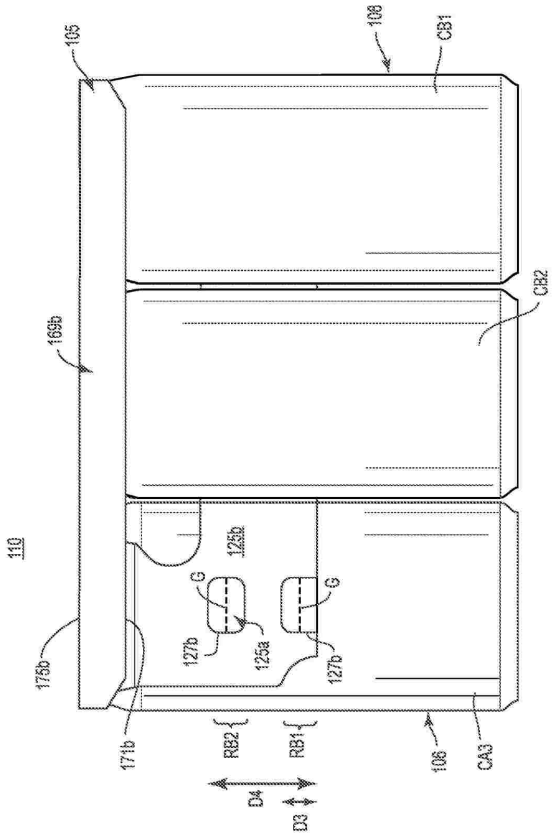
【図３】



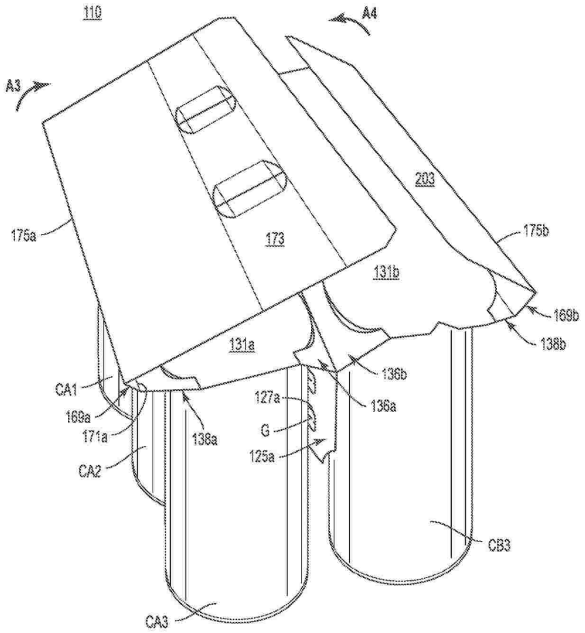
【図４】



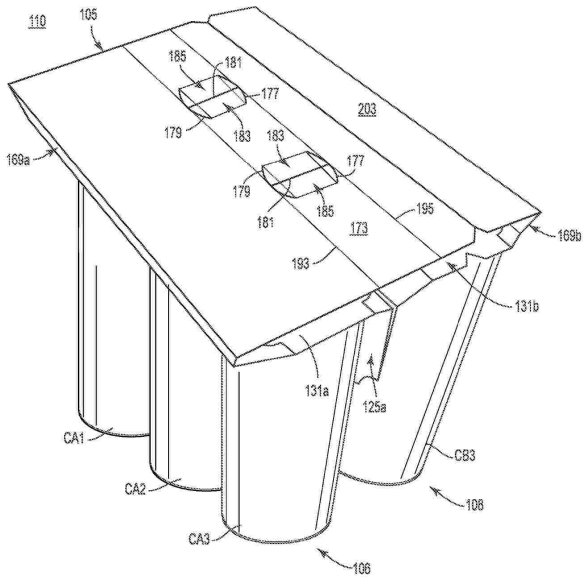
【図５】


105
106
CB1
CB2
169b
110
125b
G
127b
125a
171b
RB2
RB1
D4
D3
CA3

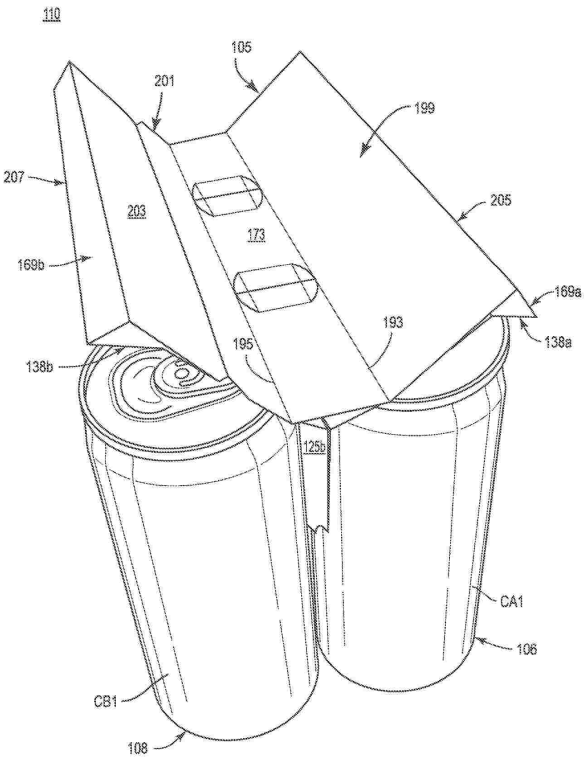
【図６】


110
A4
A3
203
175a
175b
173
131b
169b
138b
131a
CA1
136b
127a
136a
169a
171a
138a
G
125a
CA2
CB3
CA3

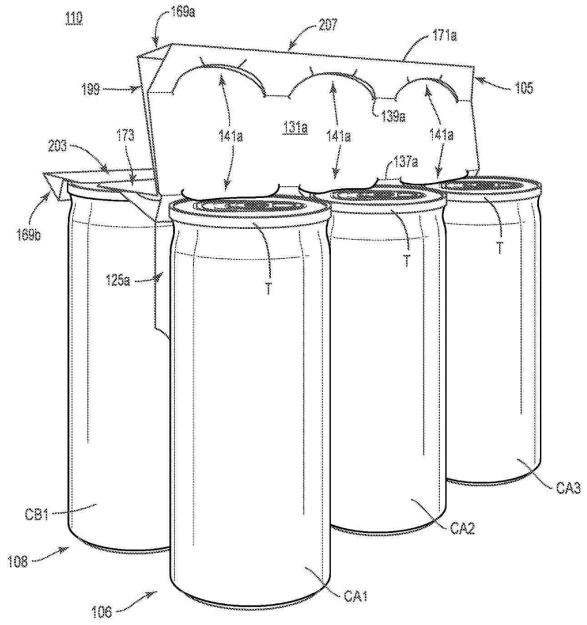
【図７】


110
105
185
181
177
203
179
183
183
177
169a
179
181
185
195
173
169b
193
131b
131a
125a
CA1
CB3
CA2
106
CA3
106

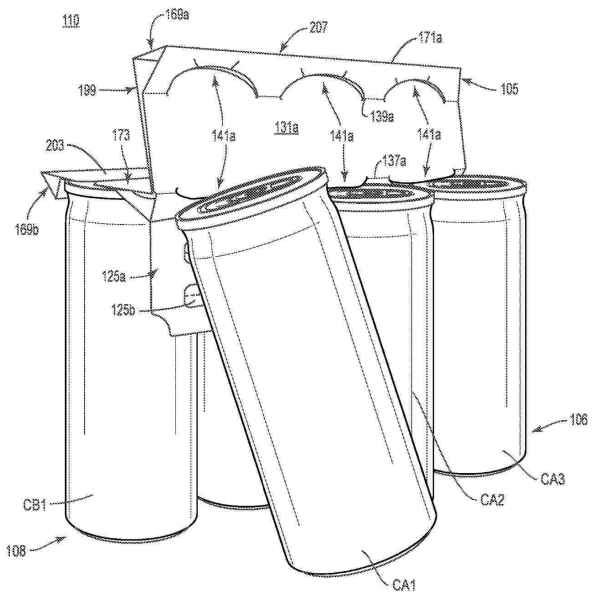
【図８】


110
105
201
199
207
203
205
173
169b
169a
193
138a
138b
195
125b
CA1
106
CB1
108

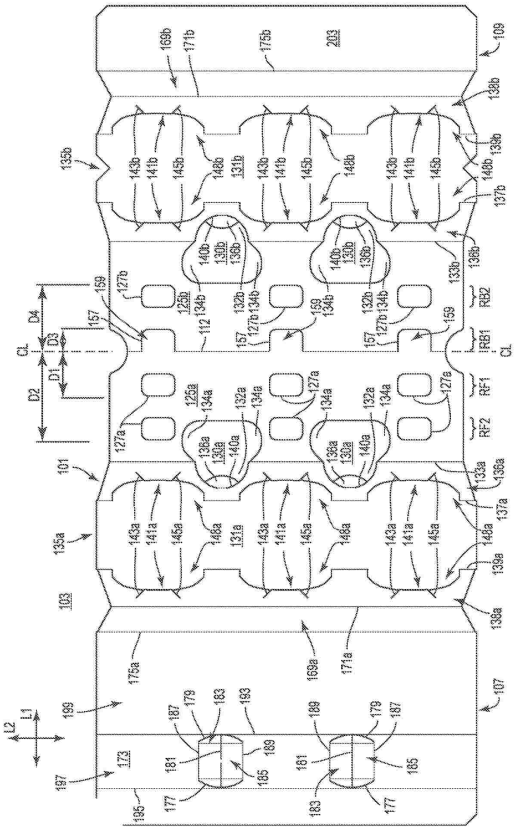
【図９】


110
169a
207
171a
199
105
139a
131a
141a
141a
141a
203
173
137a
169b
125a
T
T
T
CA3
CB1
CA2
108
CA1
106

【図１０】


110
169a
207
171a
199
105
139a
131a
141a
141a
141a
203
173
137a
169b
125a
125b
106
CA3
CB1
CA2
108
CA1

【図１１】


169b
171b
175b
203
109
135b
143b
141b
145b
146b
131b
138b
137b
140b
130b
136b
125b
134b
132b
127b
159
157
112
D4
D3
CL
D1
D2
RB2
RB1
RF1
RF2
101
103
135a
143a
141a
145a
146a
131a
138a
137a
133a
140a
130a
134a
132a
125a
127a
175a
169a
171a
107
199
L1
L2
187
179
183
189
173
181
185
197
177
161
195
183

フロントページの続き

(74)代理人　100182257
弁理士　川内 英主
(74)代理人　100202119
弁理士　岩附 秀幸
(72)発明者　スモーリー，ブライアン
イギリス ビーエス１６ ９エヌジー ブリストル，マンゴッツフィールド，ブリッジ ロード，オールド ステーション コテージ
審査官　杉田 剛謙

(56)参考文献
特公昭３７－０１５７３０（ＪＰ，Ｂ１）
米国特許第０３６１２２６６（ＵＳ，Ａ）
米国特許第０４４４１６１１（ＵＳ，Ａ）
特表２０１３－５４４７２５（ＪＰ，Ａ）
米国特許第０３７０１４１６（ＵＳ，Ａ）
実開昭６１－１３４９５７（ＪＰ，Ｕ）
米国特許第０３０４６７１１（ＵＳ，Ａ）
米国特許第０３２４５７１１（ＵＳ，Ａ）
欧州特許出願公開第０００５７４３７（ＥＰ，Ａ１）
欧州特許出願公開第０３８４２３６０（ＥＰ，Ａ１）

(58)調査した分野　(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｂ６５Ｄ　７１／４０